
希望と絶望を君に

橘 蜜柑

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

希望と絶望を君に

【Nコード】

N1078M

【作者名】

橘 蜜柑

【あらすじ】

僕是最愛の女性である彼女を殺す…。

それは、彼女への愛情なのか憎しみなのか。

僕と彼女の出会いから、僕が彼女を殺すまでをここに記録する。

出会い

いつも強気の彼女は、僕を振り回す。

僕と彼女の出会いは、今から何年前になるんだろうか。

そんなことを考えながら、僕は、彼女の家に向かう。

彼女を殺すために。

彼女は、一人で住むには大きすぎる豪邸に住んでいる。
彼女が大学4年生の夏に両親を事故で失い、彼女には、両親の残した多すぎる財産と大きすぎる豪邸が残った。

2

彼女の父親は、出版会社の社長だった。

幼い頃から、蝶よ花よと育てられた彼女は、わがままで強気に育ち、周囲を振り回すことを意ともしない。

僕は、そんな彼女に振り回されながら、彼女を愛し、憎んでいた。

僕らの出会いは、高校時代に遡る。

大学受験のために、毎日近所の図書館に通っていた僕は、同様に毎日通っていた彼女に声をかけられたことから始まった。

当時彼女のは、ポニーテールで私立の女子校の制服を地味でもなく、派手でもなく着こなし、時折見せる笑顔は、無邪気で可愛い一言だった。

そんな彼女に、進学校の制服を着ているだけの地味な高校生だった僕は、声をかけられて、彼女を意識しない訳がなかった。

彼女は、数学が苦手らしく、いつも数学の問題を解いている僕を見て、どうしても解らないから教えてくれないかと声をかけてきた。

初めはびっくりして声も出なかったが、僕は彼女に声をかけられたこと、こんな僕を頼ってくれた存在に嬉しくなって、簡単な問題をなかなか理解出来ない彼女に根気よく付き合った。

それから、彼女は毎日僕に質問しに来るようになった。

その度に、僕は丁寧に彼女が理解出来るまで、付き合った。

誰かに頼られることが、皆無だった僕は、彼女から頼られることに喜びを感じていた。

でも、彼女は違った。

誰かに守られて、可愛がられて、何でもしてもらったことが当たり前
の彼女には、僕の喜びなど知るよしもなかった。

接近

彼女との付き合いは、互いに第一希望の大学受験に成功した時から始まった。

僕は、毎日彼女に会う度に惹かれていて、彼女に恋をしていた。受験が終わったなら、もう会うことはなくなるんだと思うと、苦しくなり、切なくなった。

受験の日、僕は、絶望的な気持ちで試験会場に向かったのを今でもハッキリと覚えている。

しかし、時間というものには残酷に、ある一定のスピードを必ず保ち進んで行く。

僕は、なんなく試験を終え、それから毎日、また彼女に会えるかもしれないと思い、図書館にいた。

彼女の受験校の試験が終わって2週間が過ぎた。

その間、彼女は、一度も図書館には現れなかった。

僕は、もう彼女に会うことを諦めていた。

帰ろうと思い、荷物をまとめていた、その時、後ろから2週間も待ち続けた彼女が、僕を呼んだ。

「星野くん」

振り返ると、いつものポニーテールではなく、軽くパーマをかけて制服姿ではない、前よりずっと綺麗になった彼女がいた。

僕は、驚きと嬉しさと、たった2週間で大きく変わった彼女に少し寂しさを感じた。

「田原さん、久しぶり…」

僕は、なんとか言葉を発することができた。

彼女は、そんな僕を全く気に留めることもなく話しだした。

「私、大学合格したわ。両親に星野くんの話をしたの。そしたら、今夜うちに連れて来なさいって言うもんだから、呼びに来たのよ。」

僕は、啞然として彼女を見つめた。

「田原さん、よく意味がわからないんだけど」

彼女は少しイライラした面持ちで再度僕に言った。

「だから、パパとママが貴方に会いたいって言ってるの。今夜貴方は私のうちで一緒に食事するの。」

僕は面食らってしまった。

そして彼女は、僕に有無を言わせない勢いで、僕の腕を掴み歩き出した。

僕は、彼女に掴まれた腕をただ見つめることしかできず、また、掴まれた部分が異様に熱くなって、それが彼女にバレるのが嫌だった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1078m/>

希望と絶望を君に

2011年1月15日21時00分発行